

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	218	学校名	仙台市立岩切中学校	校長名	糸谷 俊哉
------	-----	-----	-----------	-----	-------



1 取組のタイトル, テーマ

宿泊的行事を通して深める SDGs 学習

～【持続可能な世界】・【誰一人置き去りにしない世界】の実現へ向けた取り組みから学ぶ～

2 取組の紹介

将来私たちが生活していく地域社会を【持続可能な社会】【誰一人置き去りにしない社会】としていくためには『何をしたらいいのか。』『そんな社会の実現に向けてできることは何なのか。』今の中学生は2030年には社会づくりの担い手となっています。だからこそ岩切中学校2学年では、よりよい社会を作り上げる力を育てることができるよう、普段の学校生活では経験できない宿泊的行事である野外活動と修学旅行を通して、多くの課題解決に向けた取組や活動を学びながら、SDGs 学習を深めております。

○校内で SDGs 学習を行いました。17の目標から一つ選び、その目標について学習し、発表会を実施しました。



○令和5年5月25日から山形県鶴岡市および最上郡戸沢村にて野外活動を実施しました。戸沢村では林業体験を行いつつ、SDGs オリジナルボードを活用し農業疑似体験（『持続可能な地域作りのアイデア』）を通してSDGsについて学習しました。また宿泊施設が行う食品ロス削減への取組を通して【12：つくる責任つかう責任】について考え、加茂水族館では【14：海の豊かさを知ろう】に基づき、海に生きる生物について学習を深めました。山形県鶴岡市内で実施した班別学習では、寺社仏閣を訪ねながら多くの生徒にとって【11：住み続けられるまちづくりを】について考える機会となりました。



○令和6年4月15日からの修学旅行に向けて事前学習を進めております。修学旅行で訪れる京都府（市）と今実際に暮らしている宮城県（仙台市）で行われているSDGsの取り組みを比較するという観点で、自分の興味のあるテーマに沿って、調べ、スライドを活用し、写真や図、イラストなどを用いてまとめ、調べたことを班や学級で発表し合いました。生徒たちはそれぞれの視点で調べ、『エネルギーの比較』『健康イベントの比較』『クリーンエネルギーの比較』『企業が取り組むつくる責任つかう責任に向けた取り組みの比較』など様々な視点を持って調べ、工夫して発表する姿が見られました。

3 取組の成果（児童生徒の変容）

○岩切中学校では「主体的に取り組む生徒の育成」「対話を通し他と協働する生徒の育成」を学校目標とし、様々な教育活動の場面で生徒の主体性や対話を通した他者と協力し合って活動することによって互いに成長していくことができるように指導しております。これまでのSDGs学習が「主体的に取り組む生徒の育成」「対話を通し他と協働する生徒の育成」にもつながってきていると感じています。卒業した生徒たちが、杜の都仙台の未来を支える日が来ることを信じ、これからも生徒たち取組を支えていきたいです。